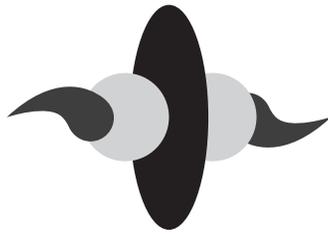


2014.06.30

第5回
福岡アジア美術
トリエンナーレ2014
The 5th Fukuoka Asian Art Triennale 2014



PRESS RELEASE ver. 2.0



〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
fukuokatriennale.ajibi.jp

開 催 趣 旨

福岡アジア美術トリエンナーレ(福岡トリエンナーレ)は、福岡アジア美術館の継続的な調査研究や交流事業の成果と蓄積を生かして、3年ごとに、毎回異なるテーマでアジア21ヵ国・地域の美術の新傾向を紹介する展覧会として、国内外から高い注目と評価を受けてきました。本展は、絵画、彫刻、インスタレーション、映像などの作品展示を行なうとともに、作家を福岡に招聘して共同制作・ワークショップ・パフォーマンスなどを実施し、福岡市民との交流の場を創り出すものです。

福岡アジア美術館開館15周年に開催する第5回展は、従来のようにアジア新進作家の紹介を続けるとともに、下記に重点をおき、「福岡初・福岡発」の独自の国際展として福岡市・九州のみならず、東京等国内や国外からの集客をめざします。

- 1 日本初紹介の作家(36作家中22作家)を中心に新進作家を選ぶとともに、映像、写真、デザイン、メディア・アート等の領域を積極的に取り込みます。
- 2 特別部門を設け、特にめざましい新傾向のある地域・ジャンル等の作品を重点的に紹介します。
- 3 福岡アジア美術館の過去のレジデンス事業で紹介した後に国際的に活躍するようになった作家を紹介します。
- 4 福岡の美術・文化関係者(美術作家・デザイナー・建築家・パフォーマー・研究者等)とアジア作家とが協働する場をつくりだし、継続的な交流と国際的な活動への機会を与え、福岡発の文化振興をはかります。

開 催 概 要

[展覧会名称]	第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014(略称:第5回福岡トリエンナーレ、FT5)
[会期]	2014年9月6日(土)―11月30日(日) 水曜日休館
[会場]	福岡アジア美術館全館ほか周辺地域(〒812-0027福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階)
[主催]	第5回福岡アジア美術トリエンナーレ実行委員会(福岡アジア美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送)
[参加作家]	36人・組(21ヵ国・地域) + 特別部門10人(計46人・組)
[観覧料]	ワンデーパス 一般¥1,500(前売り:¥1,000) 高大生¥1,000(前売り:¥500) フリーパス 一般¥2,000(前売り:¥1,500) 高大生¥1,500(前売り:¥1,000) *中学生以下無料、()内は前売、20人以上の団体、65歳以上の料金。
[後援]	外務省、参加各国駐日大使館、福岡市教育委員会
[特別助成]	(公財)石橋財団
[助成]	(一財)地域創造、芸術文化振興基金、(公財)ポーラ美術振興財団、(公財)花王芸術・科学財団、 (公財)吉野石膏美術振興財団、Asian Cultural Council、(公財)福岡文化財団
[協賛]	博多リバレイン、積水ハウス(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)西日本シティ銀行、西部ガス(株)、 (株)福岡銀行、西日本鉄道(株)、(株)九電工
[協力]	TSUTAYA、釜山ビエンナーレ組織委員会、NECディスプレイソリューションズ(株)、音楽塾ヴォイス
[イメージソング]	『タイトル未定』家入レオ(楽曲プロデューサー:西尾芳彦)

構 成

- 1 **展示** 絵画、彫刻、映像、インスタレーション等の展示
特別部門「モンゴル画の新時代」
- 2 過去5年間でめざましい発展をした地域、ジャンル等を重点的に紹介。今回は、伝統的な技術を用いながらも現代的・都市的な主題によって大きく変容しつつあるモンゴル画を、10人の若手作家の作品で紹介する。
交流プログラム
- 3 アジア各国からの招聘作家による美術交流イベント
(例:公開制作、館外展示、ワークショップ、パフォーマンス、トーク)

テ ー マ

未来世界のパノラマ—ほころぶ時代のなかへ

PANORAMA OF THE NEXTWORLD: Breaking out into the Future

迷宮の向こうに未来がある。ほころび、また花咲く世界に向けて。

「未来」—— 成長する時間

ここでいう未来とは、私たちが何もしなくてもやって来るような、淡々と進行する機械的な時間概念ではありません。私たちの認識やテクノロジー、環境などの大きな変化によって、今の世界がひとつ古い時代へと押しやられるような、進化論的な飛躍をともなって成長する時間です。それゆえ、未来の世界がいつやって来るのかは誰にもわかりません。しかし、その萌芽はこの世界のいたるところにひそんでいて、私たちは気づいていないか、あるいは何かによって隠されているだけなのかもしれません。

「未来世界のパノラマ」—— 拡張していくビジョン

私たちがリアルに感じる未来は、もはやユートピアのような理想に満ちた世界像ではないでしょう。現実の世界は、政治・経済・宗教などのさまざまなレベルで交渉不能な価値観が対立し、科学やテクノロジーの革新的な知見がさらなる謎を深めています。未来世界とは、そうした出口の見えない迷宮のような現実のすぐ近くに広がっていて、私たちの到着を待っているのです。未来世界のパノラマとは、閉ざされ、固定化された、独善的なビジョンではなく、複眼的につながり、逸脱し、果てしなく拡張していくビジョンなのです。

「ほころび」—— 新しい世界の萌芽

今の私たちにとって必要なのは、迷宮のような現実から受ける圧力や限界、あるいはユートピアのような心地よい虚像のなかで思考停止することではなく、それらの矛盾やほころび(=破綻)を察知し、新しい世界像(イメージ、概念、関係性)へと変換するような想像力ではないでしょうか。今回の福岡トリエンナーレでは、こうした未来志向のパノラマ的想像力をもったアーティストたちを紹介するとともに、彼ら/彼女らのビジョンがつながり、拡張していく本展が、新しい世界のほころび(=誕生)を予感させるものになることを願っています。

参 加 作 家

36人・組 / 21ヵ国・地域

1	ハイダール・アリ・ジャン	Haider Ali Jan	パキスタン	男性	1983-
2	★ メヘリーン・ムルターザ	Mehreen Murtaza	パキスタン	女性	1986-
3	★ プラバール・カル・パーチュプテ	Prabhakar Pachpute	インド	男性	1986-
4	ラティッシュ T.	Ratheesh T.	インド	男性	1980-
5	★ ローヒニー・ディヴェーシャル	Rohini Devasher	インド	女性	1978-
6	プラディープ・タラワッタ	Pradeep Thalawatta	スリランカ	男性	1979-
7	★ スニール・シグデル	Sunil Sigdel	ネパール	男性	1978-
8	デチェン・ロデル	Dechen Roder	ブータン	女性	1980-
9	★ ペマ・ツェリン	Pema Tshering	ブータン	男性	1985-
10	★ コビール・アフメッド・マスム・チスティ	Kabir Ahmed Masum Chisty	バングラデシュ	男性	1976-
11	★ ジハン・カリム	Zihan Karim	バングラデシュ	男性	1984-
12	★ ミン・ティエン・ソン	Min Thein Sung	ミャンマー	男性	1978-
13	ター・モウ・ナイン	The Maw Naing	ミャンマー	男性	1971-
14	チュラヤーンノン・シリボン	Chulayarnnon Siriphol	タイ	男性	1986-
15	シャーマン・オン	Sherman Ong	マレーシア	男性	1971-
16	★ ファンク	PHUNK	シンガポール	男性	発足:1994
17	ブンポール・ポティザン	Bounpaul Phothyzan	ラオス	男性	1979-
18	★ アニダ・ユー・アリ	Anida Yoeu Ali	カンボジア	女性	1974-
19	スタジオ・レボルト、菅野将弘、コーサル・キエフ	Studio Revolt, Sugano Masahiro, Kosal Khiev	カンボジア	—	発足:2011
20	グエン・チン・ティ	Nguyen Trinh Thi	ベトナム	女性	1973-
21	ファン・クアン	Phan Quang	ベトナム	男性	1976-
22	★ プリラ・タニア	Prilla Tania	インドネシア	女性	1979-
23	モハンマド・アリノミン・オムラリ	Muhammad Alinormin Hj Omarali	ブルネイ	男性	1979-
24	★ キリ・ダレナ	Kiri Dalena	フィリピン	女性	1975-
25	ハグヴァドルジ・エンフバット	Lkhagvadorj Enkhbat	モンゴル	男性	1987-
26	★ ナンディン・エルデネ・バドゥザグド	Nandin-Erdene Budzagd	モンゴル	女性	1981-
27	★ ブー・ホア (ト樺)	Bu Hua	中国	女性	1973-
28	★ ルー・ヤン (陸揚)	Lu Yang	中国	女性	1984-
29	★ ヤン・ヨンリアン (楊泳梁)	Yang Yongliang	中国	男性	1980-
30	チェン・イージエ (陳怡潔)	Agi Chen	台湾	女性	1980-
31	ユェン・グァンミン (袁廣鳴)	Yuan Goang-ming	台湾	男性	1965-
32	★ チェ・ジョンファ	Choi Jeonghwa	韓国	男性	1961-
33	ムン・キョンウォン&ジョン・ジュンホ	Moon Kyungwon & Jeon Joonho	韓国	女性・男性	1969-
34	★ WATAGATA 福岡釜山アートネットワーク	WATAGATA Arts Network	日本・福岡	—	発足:2010
35	★ あのラボ	anno lab	日本・福岡	男性	発足:2012
36	★ よしながこうたく	Yoshinaga Koutaku	日本・福岡	男性	1979-

★ 交流プログラムに参加するアーティスト(詳しくはP-09を参照)

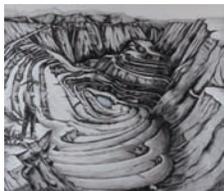
参 加 作 家 36人・組 / 21カ国・地域

グローバリズムの果てから

プラバーカル・パーチュプター

|| インド
|| 絵画/映像

空想とリアルにみちた
モノクロームの世界
インドの地方都市 vs
グローバル経済



ラティーシュ T.

|| インド
|| 絵画

南インド的な神話・自然・都市が複雑に融合した絵画



スニール・シグデル

|| ネパール
|| 立体/パフォーマンス

労働者や肉体の苦悩を表す立体、パフォーマンス



ブンポール・ポーティザン

|| ラオス
|| 映像

ラオスですすむ開発と自然破壊に警鐘を鳴らす映像作品



プリラ・タニア

|| インドネシア
|| インスタレーション

食物・エネルギーの生産・消費・廃棄のサイクルを紙のパッケージを切り抜いて表現し現代社会の問題を問いかける



共同体という幻想

プラディブ・タラワッタ

|| スリランカ
|| 写真

ついに終結した内戦...かつて最前線だったジャフナとコロomboをつなぐ新世代の作家



チュラヤンノン・シリボン

|| タイ
|| 映像

事件があった場所で国歌斉唱時に地面に横たわるパフォーマンスの映像



シャーマン・オン

|| マレーシア
|| 映像

移民に虚実入り混じる体験を語る映像のシリーズ



アニダ・ユー・アリ

|| カンボジア
|| 写真/パフォーマンス/インスタレーション

女性が直面している制約、孤立などのパフォーマンス、インスタレーション



スタジオ・レポート、菅野将弘、コーサル・キエフ

|| カンボジア
|| 映像/パフォーマンス

難民・移民の体験をリズムミカルに語る朗読パフォーマンスを映像化



グエン・チン・ティ

|| ベトナム
|| 写真/インスタレーション

風化していくベトナム戦争の惨禍を記憶していく映像。戦争とは何かを問いかける。



ムン・キョンウォン&チョン・ジュンホ

|| 韓国
|| 映像

国際的な評価の高い作家の新作映像を世界プレミア上映。北京のレストランで出会う人々から、イデオロギーを超えた人間の未来を問う



WATAGATA福岡釜山アートネットワーク

|| 日本・福岡
|| プロジェクト/絵画/演劇/ゲーム

韓国・釜山と日本・福岡の両都市の芸術家が行ったり来たりして交流・創造するアートネットワークプログラム



● は日本初紹介 *写真はすべて参考作品

参 加 作 家 | 36人・組 / 21カ国・地域

日常の中の消失点

デチェン・ロデル

|| ブータン
|| 映像

悩みや困難を抱えながらも現実に立ち向かう女性たちを描くショートフィルム



ベマ・ツェリン

|| ブータン
|| 映像

伝統文化と都市文化の両方を生きる若者を描くショートフィルム



ジハン・カリム

|| バングラデシュ
|| 映像

都市空間に映像プロジェクションで介入し、その場所の特性をあぶりだす



ミン・ティエン・ソン

|| ミャンマー
|| インスタレーション

あの追憶の時代——幼い頃の記憶をたどり、子どもの玩具を白い布を使って大きく立体化



ター・モウ・ナイン

|| ミャンマー
|| 映像

製本工場で働く人々のささやかなしぐさや言葉と詩的なナレーションを組み合わせた映像



ファン・クアン

|| ベトナム
|| 写真

農村・消費・戦争・検閲などの問題を表現する構成写真



モハンマド・アリノミン・オムラリ

|| ブルネイ
|| インスタレーション

隠居したムスリム老人の生活を調査し立体・写真で表現



キリ・ダレナ

|| フィリピン
|| 映像

台風による洪水ですべてを失った子どもたちが避難地で生きる姿を美しい映像で描く感動的な再生の物語



ハグヴァドルジ・エンフバット

|| モンゴル
|| 絵画

首都に地方から流入してホームレスとして生きる人々を斬新な構図で描く



ナンディン・エルデネ・バドゥザグド

|| モンゴル
|| 絵画

ファッション雑誌を使ったコラージュ絵画で、都市に生きる女性が抱える問題を表現



● は日本初紹介 *写真はすべて参考作品

参 加 作 家 36人・組 / 21カ国・地域

イメージの錬金術

ハイダール・アリ・ジャン ●

|| パキスタン
|| 映像

ムスリムの立ち振る舞いをリズムカルに表現。宗教や政治の形骸化をテーマにした、思わず見入ってしまうアニメーション



ロ・ヒニー・ディヴェーシャル ●

|| インド
|| 映像/絵画

デジタルな新生物誕生!



コビール・アフメッド・マサム・チステイー ●

|| バングラデシュ
|| インスタレーション/映像

自分の身体を使った実写映像と手描きアニメーションを組み合わせた映像インスタレーション



チェン・イージェ (陳怡潔)

|| 台湾
|| インスタレーション

実在のキャラクターをカラフルな同心円で表したポップで可愛いイメージ世界



ユェン・グァンミン (袁廣鳴)

|| 台湾
|| 映像

日常生活と広大な自然空間を驚異のカメラワークで接続し、見る人の視覚と感情をゆさぶる



チェ・ジョンファ

|| 韓国
|| インスタレーション

「メイド・イン・コリア」をテーマに、安価なプラスチック製のキッチン用品で空間をカラフルに変貌させる名人



あのラボ

|| 日本・福岡
|| メディアアート

九州大学出身のクリエイター4人が、メディアを駆使して観衆参加型の映像、アニメ、ゲームを開発



素晴らしき新世界へ

メヘリン・ムルターザ ●

|| パキスタン
|| 写真/インスタレーション

サウジアラビア生まれの新世代SFガール



ファンク

|| シンガポール
|| デザイン

無国籍的・雑種的なキャラクターが跋扈、快楽と危険が同居するどこにもない都市



ブー・ホア (卜樺) ●

|| 中国
|| 映像

ノスタルジックでキュートなフラッシュアニメ開発のすすむ都市を少女が冷やかにみつめる



ルー・ヤン (陸揚)

|| 中国
|| 映像/ゲーム/インスタレーション

人間と機械の臨界を問うコンセプトと日本のアニメ文化が合体!



ヤン・ヨンリアン (楊泳梁) ●

|| 中国
|| 映像

一見山水画、実は驚異の技術による映像の集積が生み出す、どこにもない都市



よしながこうたく

|| 日本・福岡
|| 絵本/絵画

表情やアクションやパワフルな絵で全国に知られる絵本作家 博多弁バイリンガル!



● は日本初紹介 *写真はすべて参考作品

特別部門

モンゴル画の新時代

伝統から現代へ

世界初！現代モンゴル画を一挙紹介
ダイナミック&キュートー都市を生きる若手作家が切り開く伝統の革新！

今回のFT5では、21ヵ国・地域の若手作家を個々に紹介することに加え、特定の地域やジャンルなどに見られる新しい美術の動きを伝える「特別部門」を設けます。今回は、現代「モンゴル画」（日本でいう「日本画」に相当）の新傾向を世界で初めて紹介します。

線描を主体に遊牧民の生活などを描いてきた「モンゴル画」には、近年、これまでの伝統を大きく乗り越えた革新的な新潮流が生まれています。現代の社会問題や女性の感性に注目するテーマや、ダイナミックな構図の実験は、わたしたちが知っていた伝統的で重厚な「モンゴルらしさ」のイメージを完全にくつがえし、グローバル化していく都市文化を生きる若者たちの意欲的な表現は、日本や世界の観衆からも共感を得ていくことでしょう。

本部門は、この変化を牽引する新進気鋭の作家10人の約30点の作品を一挙に展示することで、「モンゴル画」の最新動向をお伝えします。

1	ゲレルフー・ガンボルド	Gerelkhoo Ganbold	男性	1988-
2	ナイダンドルジ・エンフバートル	Naidandorj Enkhbaataryn	男性	1984-
3	タミル・シャラヴ	Tamir Sharav	女性	1984-
4	アンガラグスレン・オドフー	Angaragsuren Odkhoo	男性	1983-
5	ホンゴルツォル・ハグヴァジャヴ	Khongorzul Lkhagvajav	女性	1980-
6	オドバイヤル・ガンドルジ	Odbayar Gandorji	男性	1980-
7	ウルジンクハンド・オノン	Urijinkhand Onon	女性	1979-
8	ウーリントウヤ・ダグヴァサムブー	Uuriintuya Dagvasambuu	女性	1979-
9	バーサンジャブ・チョジリアヴ	Baasanjav Chojiljav	男性	1977-
10	ニヤムフー・バートル	Nyamkhoo Baatar	男性	1971-



(左より、上段:1、5、10、下段:4、8、7の作品)

交 流 プ ロ グ ラ ム

アーティスト滞在スケジュール(予定)

	滞在期間	アーティスト	交流プログラム
	7/3 - 9/8 10週間	ミン・ティエン・ソン [ミャンマー]	巨大なおもちゃの戦車をナイロンの布で制作し、天井から吊して展示 制作は交流スタジオで、一般参加できる
	7/30 - 9/9 6週間	プリラ・タニア [インドネシア]	食品の包装紙による切り紙のインスタレーションを制作 オープニング・イベントも予定
	8/1 - 8/22 3週間	チェ・ジョンファ [韓国]	空間を一変させる! 館内や街中のビルの柱にカラフルな韓国の日用品のザルで取り巻く
	8/6 - 9/9 5週間	メヘリン・ムルターザ [パキスタン]	内側から神秘的な詠唱が聞こえてくる大きな球体のインスタレーションを制作
	8/26 - 9/15 3週間	スニール・シグデル [ネパール]	働く子どもの手が印刷された布にヘナで模様を描くワークショップ オープニング・パフォーマンスを予定
	9/1 - 9/21 3週間	ファンク [シンガポール]	館内最大の壁面に、新作を滞在制作し、漫画や文字などのプリントを貼り重ねていく
	9/3 - 10/14 6週間	ヤン・ヨンリアン(楊泳梁) [中国]	福岡の都市や自然の風景、日本伝統文化などを調査して、新作映像作品を制作
	9/9 - 9/29 3週間	ローヒニー・ディヴェーシャル [インド]	壁面に増殖していく、有機的なイメージの巨大ドロイングを、木炭やクレパスなどで描く
	9/10 - 9/29 3週間	プラバーカル・パーチュプター [インド]	インドの炭鉱をテーマとする作家が、福岡の炭鉱を調査し、インスタレーションを制作
	9/11 - 10/14 5週間	ペマ・ツェリン [ブータン]	自身が書いた原作をもとに、福岡の漫画家と漫画を描く
	9/17 - 10/7 3週間	アニダ・ユー・アリ [カンボジア]	テキスタイルを使い、女性をテーマにパフォーマンスとインスタレーションを発表
	9/18 - 10/14 4週間	キリ・ダレナ [フィリピン]	政治デモのスローガンをもとめた本の制作 またテラコッタで壊れた人体の制作も予定
	9/18 - 10/28 6週間	ジハン・カリム [バングラデシュ]	福岡の映像作家と共同で新作ビデオを制作し、屋外で上映 「糸島国際芸術祭」にも参加
	10/23 - 11/25 5週間	コピール・アフメッド・マスム・チステイー [バングラデシュ]	夢をテーマに子どもたちが描いたたくさんの絵でアニメーションを制作
	10/29 - 11/18 3週間	ナンディン・エルデネ・バドゥザグド [モンゴル]	モンゴルや日本の雑誌の切り抜きを用いてキャンバスにコラージュ作品を制作
	11/19 - 11/25 1週間	ルー・ヤン(陸揚) [中国]	映像作品《子宮戦士》のゲーム化に着手、福岡の大学生と共同でゲームを制作
	11/26 - 12/1 1週間	ブー・ホア(卜樺) [中国]	クロージングイベントとして、トークと作家のフラッシュ・アニメーションの過去作品を上映
		福岡在住の参加作家	交流プログラム
		WATAGATA福岡釜山アートネットワーク [韓国/日本・福岡]	福岡・釜山を行き来する芸術家ネットワークが「15歳の少女」をテーマに美術、演劇、ゲーム等が交差する作品を発表
		あのラボ [日本・福岡]	子どもも大人も参加できるテクノロジーを使った楽しいワークショップ
		よしながこうたく [日本・福岡]	9月14日(日)、10月5日(日)にワークショップ「番長、きたる! 読み聞かせ&ライブペイント」開催

*写真はすべて参考

FT5 NEW TOPICS

1 シンガポールを代表するデザイナー集団「PHUNK(ファンク)」が手掛けたFT5のメインビジュアルの公開

P HUNKは1994年に結成された4人組のアート・デザイン・チーム。ナイキ、MTV、G-SHOCK、ディーゼル、リーバイス、コム・デ・ギャルソンなど数多くのグローバルブランドのプロジェクトを手掛け、世界各国の有名アート／デザイン誌から高く評価される彼らは、雑誌などのデザインだけでなく、音楽やファッションの世界にまで進出する、シンガポールを代表する新進気鋭のクリエイティブ集団。

なお、PHUNKはFT5のオープニングにあわせて来日し、滞在制作を行う予定。

「PHUNK」からのコメント



「未来世界のパノラマ」というテーマは、とても魅惑的で、僕らも未知なる興味と期待で胸がいっぱいです。ポスターでは、夢や驚きのアートや音楽が満ち溢れた祭典「未来世界のパノラマ」での歓迎パレードの様子を表してみました。



メインビジュアルタイトル
「旧い世界から、新たな夢を」

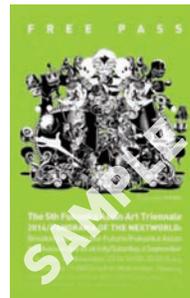
2 福岡トリエンナーレ初のフリーパスチケット販売決定

F T5は映像系の作品が多く、1日で回りきることが難しいことや、遠方からの来場者の福岡滞在を促すため、会期中は何度でも観覧できるフリーパスチケットの販売を実施することが決定した。じっくり見たい人はフリーパスがおすすめ。前売りは500円引き。

前売り券はローソンチケット、チケットぴあ、ほかにて7月1日より販売開始。

	一般	一般前売	高大生	高大生前売
ワンデーパス	1,500円	1,000円	1,000円	500円
フリーパス	2,000円	1,500円	1,500円	1,000円

(※中学生以下無料)



FT5 NEW TOPICS

③ 福岡の音楽産業を支えるヒットメーカー西尾芳彦、実力派シンガーソングライター家入レオによるFT5イメージソングの制作も決定

15歳で音楽の道で生きていくことを決意し、強い意志を持って、その夢を叶え、目覚ましい成長を遂げるシンガーソングライター家入レオ。家入レオが学んだ「音楽塾ヴォイス」を福岡に設立し、YUI、絢香、家入レオを始め数多くのアーティストを輩出し、同塾で未来のアーティストの指導にもあたるプロデューサーの西尾芳彦。

福岡が生んだFT5のテーマを体現するような未来志向型のアーティストと、また福岡の次世代の才能を発掘する未来志向型のプロデューサーが、FTの意義を高く評価しているため、今回のコラボレーションが実現した。

現在楽曲は制作進行中。なお、同楽曲はFT5のイメージソングとして、TVQ九州放送で放送されるFT5のCMソングとして起用される他(0.A 8月25日-11月末予定)、開催にあわせて様々なところで使用される予定。



家入レオ プロフィール

福岡出身のシンガーソングライター。13歳のときに自ら音楽塾ヴォイスの門を叩き、同塾の主宰者である西尾芳彦に師事。後に自身のデビュー曲となる「サブリナ」を完成させた15歳の時、音楽の道で生きていくことを決意。翌年16歳で単身上京。都内の高校に通いながら、2012年2月メジャーデビューを果たし、同年末の日本レコード大賞最優秀新人賞など数多くの音楽賞を受賞。これまで2枚のアルバムを発表し、3度の全国ツアーを成功させるなど、精力的に活動中の19歳。



西尾芳彦 プロフィール

1961年7月20日生まれ 佐賀県唐津市出身 / 音楽塾ヴォイス塾長、音楽プロデューサー、作詞・作曲家
1986年にオーディションをキッカケにメジャーデビュー。一時、音楽業界から離れるが1995年に福岡県へ帰郷し、1996年福岡に音楽塾ヴォイスを設立。ヴォイス理論と呼ばれる西尾独自の実践的ロジック集(数多くの楽曲を分析して独自に研究、400-500ある蓄積したメロディーのツボ)を用い、YUI、絢香、家入レオ、ピアンコネロなど数々のアーティストを輩出。現在も音楽塾で指導にあたりながら、アーティストの発掘、プロデュースを行っている。

④ 釜山ビエンナーレほか国内外の国際展との連携について

釜山ビエンナーレ (会期:9月20日-11月22日、釜山市立美術館ほか)

同時期に韓国・釜山で開催される釜山ビエンナーレとは、国を超えて半券による観覧料無料サービスを実施。どちらかの半券提示でもう一方の展覧会を無料で鑑賞することができる。



ヨコハマトリエンナーレ (会期:8月1日-11月3日、横浜美術館、新港ピアほか)

ヨコハマトリエンナーレ2014のコンセプトである「忘却の海」に合わせて、過去4回のFTから福岡アジア美術館に収蔵された作品と、FT5展参加のキリ・ダレナの作品の計8点、およびFT関連資料を新港ピア会場で展示する。



⑤ その他タイアップ企画について

TSUTAYA 8月25日より福岡、佐賀、熊本のTSUTAYA(合計49店)にて本を購入したお客様には福岡トリエンナーレのオリジナルブックカバーをプレゼント。ブックカバーにはトリエンナーレの割引券付! さらにTSUTAYA BOOK STORE TENJIN、福岡ビル店ではトリエンナーレに関連したスペシャルイベントなども実施予定。

*その他、市のアジア関連イベントとのコラボレーションや商業施設とのタイアップ企画、アジアの玄関口となる博多港との連携も実施予定。

本リリースに関するお問い合わせ

第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014 広報担当: 山木・橋本

Tel: 092-263-1103 Fax: 092-263-1105

E-mail: ft@faam.ajibi.jp もしくは junko-hashimoto@faam.ajibi.jp

福岡アジア美術館 〒812-0027福岡市博多区下川端町3-1 リバレンセンタービル7・8階